



生涯学習のマスコットマーク
「マナビィ」です。
デザインは、故 石の森 章太郎氏

生涯学習の窓

50

「児童館「けん玉教室」」 現代っ子の成長に役立つ昔 の遊び

お正月は昔の遊びにふれる機会が多い時期ですが、伝承遊びの中にも子どもたちの感性を刺激し、心身の発達につながるものが少なくありません。けん玉もその一つです。



ペットボトルで作った練習用のけん玉

けん玉の原型は古昔から世界の各地にありましたが、今のような形は大正時代によって考案されました。それが標準的なけん玉として日本国内はもとより、世界各国にも広がっています。

市立児童館では、平成6年度から活動プログラムにけん玉を取り入れてきました。楽しみながら体を動かすスポーツとしての要素に加え、集中力や忍耐力を養い、さらに知らない人とも交流できる手段として、子どもへの教育的効果が期待できるからです。実際、けん玉の上達には体の柔軟性やバランス感覚が必要になり、毎日の練習の積み重ねが求められます。

児童館では毎月第3土曜日午後の「けん玉スポーツ教室」のほか、「移動けん玉教室」などを実施してきました。これらの教室参加者の中には、けん玉道四段の認定を受け、関西の小学生大会でベスト

8に入った小学5年生もいます。毎年秋には児童館で「けん玉道選手権大会」を開催しています。昨年11月3日の大会には市内も含め広く府内から多数の参加があり、保育園児から社会人まで、級段ごとの競技で得点を競いました。参加した子どもたちは、できなかった技を練習してできるようになったときがうれしい」と声をそろえて言います。スポーツの苦手な子どもが、けん玉には興味を示し上達していく例もあります。

うまくできたときの軽快な音の響きも、愛好者を引きつける一つの魅力でしょう。昔からの遊びが現代っ子の成長に一役かっています。

問い合わせ 児童館（☎25）0666



けん玉道選手権の様子

ズームアップ! 健康づくり

喫煙はニコチン依存症と いう病気です!

富田林医師会理事

藤岡 雅司

タバコは、肺がんや心筋こうそくの原因となります。さらに、受動喫煙によって家族の寿命まで縮めます。タバコはからだに悪いということもだれでも知っていますよね。元気に生きたい!健康を保ちたい!と思うのなら、タバコはきっぱりとやめなければなりません。

でも、禁煙ってなかなか難しいですね。なぜ簡単にタバコをやめられないのでしょうか?その理由は、喫煙という行為が単に習慣や嗜好にとどまらず、「ニコチン依存症」という慢性的な病気になっているからです。喫煙している人たちは、自分の意思で吸っていると思っているかもしれませんが、ところがその多くはニコチン依存状態のような身体になってしまっているのです。外国では、喫煙を一種の薬物依存症として扱っています。

では、どのようにしてニコチン



依存症になってしまっているのでしょうか。初めてタバコを吸うと、直後にクラクラとする感じがあります。これは、脳にニコチンが届いたという合図です。タバコを吸ってニコチンによる刺激を繰り返すと、脳内にニコチンと結びつく受容体(レセプター)が増えていきます。受容体とはニコチンという「鍵」の入る「鍵穴」のようなものです。ニコチン受容体が増えるにしたがって、脳はニコチンをより多く要求するようになります。この状態こそがニコチン依存症です。しかも、増えてしまった受容体の数は、タバコをやめても減ることはありません。また、ニコチン依存症になるのに大人では数年かかりますが、年齢が低いほど短期間で依存状態になることもわかっています。

ニコチン依存症である喫煙をやめたいのなら、薬物療法やカウンセリングを組み合わせた禁煙治療が有効です。ニコチンパッチというはり薬を使えば、「ニコチン切れ」の禁断症状を起こすこともなく楽に禁煙することができます。



今年こそタバコをやめたいと思っている人は、ぜひかかりつけの医療機関にご相談ください。

健康づくり推進課(☎28)5520

新しい年になりました

今年は酉年。十二支の中の十番目。「酉」はもともと「ゆう」と読み、草木が極限に熟す様を表します。「酒」という字も、もともと「酉」から来ている字で、穀物が実って、酒を熟すというような意味だそうです。受験生にとっては、これまでの受験勉強の成果を熟する年始でありたいものです。また、受験生だけでなく、学校においても、学年の総まとめとして、成果が熟する3学期にしていきたいものです。



16年度高等学校・専修学校（高等課程）入学資金貸付について

今、府育英会では、高等学校および専修学校（高等課程）の併願者と国公立受験者に対する入学資金貸付の募集を行っています（私立専願者の申し込みは年末で済みましたが、時期がずれての支給であれば可能です）。この制度は、これらの学校へ進学する志望を持ち

明
日
を
め
ざ
し
て

ながら、経済的な理由で進路を断念することがないよう、入学時に必要な経費（入学資金）を無利子で貸与し、負担の軽減を図ると共に生徒の進学を支援するという制度です。

ただし、募集人員や所得基準などで一定の制限があります。受け付けは、府育英会の締め切りが1月17日で、各中学校でまとめて書類を提出しますので、詳細は各中学校、または教育指導室まで問い合わせください。

奨学金などの進路相談について

教育指導室では、奨学金を中心とした相談を行っています。高校や高等専門学校、大学・専修学校入学前後の奨学金の紹介もしています。



相談日は、水曜日（相談予約ができます）ですが、それ以外の日でも受け付けていますので気軽にご相談ください。

教育指導室（内線365）

わがまちのひと
心を込めて

新青葉丘町 中筋 喜昭さん

下を向け
ば沈んだ
表情に、
上を向け
ば明るい
表情に見
えるよう
に工夫を
していま



新青葉丘町在住の「能面作家」の中筋 喜昭さんを紹介します。中筋さんは、平成元年から河内長野市神ガ丘の里山の中に「工房・鬼住」を開いています。鬼住とは、この辺がかつて鬼住村と呼ばれていたことから中筋さんが引用されたもの。鬼住という地名や周辺の様子は、凜とした寒さもあり能面作家が工房を開くのにいかにもふさわしい土地柄です。

能狂言面の制作は、原木のヒノキを彫る作業から行います。荒彫り、中彫り、仕上げ彫りと続きまします。もちろん「面」ですから並行して裏面も削っていきます。作業には百本以上もあるノミと彫刻刀を駆使します。「一彫り、一彫り、心を込めなければいい作品はできません」。そして、「一般に能面は無表情なものと言われるように悲しみや喜びなどの一瞬の表情を出すものではないのです。しかし、舞台ではいろいろな場面があるので、制作では演者の動き、例えば、

50年近いキャリアを持つ中筋さんですが、「技術は、自分で発明するものです。だから、もつと新しい、もつと素晴らしい作品を作れるよう、日々勉強し工夫を重ねなければなりません」と、その衰えを知らない制作意欲には感心させられました。

「と教えていただきました。彫りの後は塗りの作業に入ります。「胡粉」という牡蠣の殻で作った粉で下塗り、中塗り、上塗りと続きます。そして、髪の毛や目、髭などの部分に日本画の絵の具で彩色を施し、最後に「この作業が一番難しい」とおっしゃる「古び」をかけます。古びは舞台に合うような風合いをつける彩色です。このように微妙で根気の要る工程を経て能面ができあがります。

能面は、木を彫る、彩色をする、漆を塗る、時には板金で目玉を作る、馬の毛で髭をつけるなど複合素材を全て自分独りの手で作らなければなりません。これは、能面の持つ微妙なタッチは、ほかの職人に任せて作れないからです。だから、一つの面を仕上げるのに3〜5か月を要します。



生徒さんを指導する中筋さん